

志村けんさん死去



米アニメ映画で声優を務め完成報告会で質問に答える志村けんさん=2012年9月、東京都内

新型コロナ 70歳

国民的な人気を誇った「ザ・ドリフターズ」で活躍し、笑いの一時代を築いたタレントの志村けん（しむら・けん、本名志村康徳（しむら・やすのり）さん）が29日午後11時10分、新型コロナウイルスによる肺炎のため東京都内の病院で死去した。70歳。東京都出身。葬儀・告別式は近親者で行なう。

所属事務所によると、20

日に病院に搬送され重度の肺炎と診断。新型コロナウイルスの陽性と判明し治療を受けた。21日から人工呼吸器などを付けたが、意識は戻らず話をすることもなかつたとい。国内で著名芸能人が感染を公表後、死亡したのは初めて。

ドリフターズの付き人を経て、1974年にメンバーワードに加わり、「時だヨ！全員集合」に出演。

出身地の東京都東村山市の「東村山音頭」をコミカルにアレンジしてヒットさせた。ドリフのメンバー加藤茶さんとの「ヒゲダンス」や「カラスの勝手でしょ」のフレーズが受けた「七つの子」の替え歌などが次々とブレーク。幼い子にも伝わる分かりやすいギャグで、ブラウン管の人気者になつた。

顔を白く塗った「バカ殿様」、額の下で手を横にした「アイーン」など数々の芸を生み、「志村けんのたいじょうぶだあ」など自身の冠番組を数多く手掛けた。80年代以降、ビートたけしさんや明石家さんまさんらが台頭した後も、コント一

ドリフ、アイーン人気博す

筋で独自の地位を築き、長く一線で活躍した。

映画「鉄道員（ぼっぽや）」では俳優として存在感を発揮し、2006年からは舞台「志村魂（志村魂）」で一座を率いた。出演中のテレビ番組には「天才！志村どうぶつ園（天才！志村どうぶつ園）」など。著書にエッセー「変なおじさん（変なおじさん）」などがある。

入院後、主演する予定だった映画「キネマの神様（キネマの神様）」への出演を辞退していた。

代表的ギヤク

喜多方に由来

志村けんさんの代表的ギヤグ「だいじょうぶだあ」は、喜多方市にある義理の姉の実家に遊びに行つた時に、親戚が口にしていたフレーズを元に生まれた。志村さんは30日に放送が始まった古関裕而をモデルにした朝ドラ「エール」に大物作曲家の役で出演する予定だった。昨年12月から撮影に参加し、今月6日から撮影にも臨んでいた。

- ギャグ**
- イッショメ(一丁目)、イッショメ、ワーオ!
 - カラスの勝手でしょ
 - 私ってだめな男ね
 - アイーン ■だいじょうぶだあ

- キャラクター**
- バカ殿様 ■変なおじさん

- 芸**
- ヒゲダンス

志村けんさんの主な
ギヤグとキャラクター、芸